



Vol.1

株式会社 東郷 [金属加工]

海外でも日本基準!

大手にないスピードと品質管理で勝負

グローバル化が進む中、海外へ活路を求め、製品の輸出や海外に拠点を置く鹿児島企業が出てきています。県内の製造業に焦点を当てながら、着実に進む経済のグローバル化を考えます。



加工時間を短縮するとともに、製造コストを下げ、さらに納期を短くすることで、ローカル企業との差別化を図っている。

/// 勃興するASEAN市場 満を持してタイに進出

タイ・バンコク市内から北に車を走らせること約1時間半、東郷タイ工場は、チヨンブリ県の工業団地に約4億円を投資し、平成25年8月に設立されました。

現在の現地従業員は35人、その8割が女性です。タイの女性は器用で几帳面な人も多く、精密金型を作る工程で欠かせない存在となっています。このタイ工場では製造・販売しているのは、主に自動車のモーター製造に使用される金型部品です。精密金型は、マイクロン単位の精度が求められるため、高度な技術力が必要とします。日本と同じ高性能の製品を

製造・販売しているため、海外では「東郷の製品は高価」と言われることもあり、長く安心して使ってもらえる製品作りになっています。

海外進出については、20数年前、大口の取引先が部品調達を国内から海外に移す際に、タイ進出の打診を受けましたが、その時は輸出に専念しました。しかし、国内市場が縮小する中、逆に拡大し続ける世界市場を目指すためには、今がチャンスと考え、満を持して4年前にASEANのハブであるタイに進出。

また、日本ほどの成果はあがっていませんが、今は先行投資の段階。将来はタイ工場の製品が東南アジアをはじめとして、東アジアにも販売されることを目指しています。

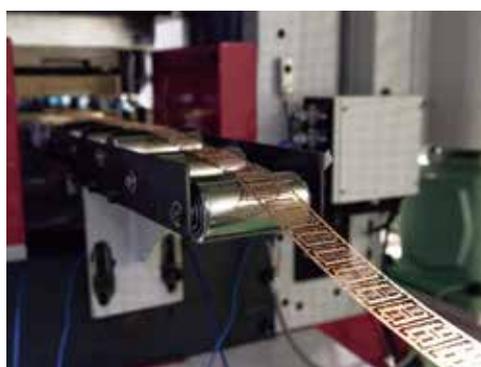
/// よい製品を作るために 人材を育てる

今年4月、将来の東郷を支える6人の技術者や新入社員が入社しました。加えて、タイ工場からも研修生として3人のタイ人が鹿児島本社工場にやってきています。日本に行くことを楽しみにしていた3人は、本社で技術や品質管理を学び、1年後はタイ工場に戻り指導者になる予定です。

「小さくても一流の企業を目指そう」をモットーに、同社は、鹿児島発のグローバル企業として、付加価値の高い製品を世界に届けていきます。



世界の自動車メーカーが集まるタイで、超精密金型を日本の自動車メーカーに納めている。



通信機器や家電・車載などに使用される、超精密な金属部品を安定的に製造している。



株式会社 東郷

鹿児島市 川田町2194

Tel.099-298-8050

代表取締役社長：東 成生 さん